



プログラム 7 地域福祉委員会ってなあに？ ～やってみよう！我が町流の福祉活動～

※令和3年度 地域福祉セミナー・地域福祉委員会活動推進会議合同開催

実行主体：第3次能美市地域福祉活動計画 見守り・助け合い推進委員会
社会福祉法人能美市社会福祉協議会

日時：2月23日(水・祝) 1時30分～3時

会場：辰口福祉会館 交流ホール ※会場とオンラインのハイブリッド形式

参加者：会場 40名 オンライン 7名



内容 第3次能美市地域福祉活動計画「見守り・助け合い推進委員会」では、地域福祉委員会における地域ぐるみの見守り・助け合いの活動の活性化や地域住民ができる生活支援や助け合い活動の拡充について話し合ってきました。話し合いの場となる地域福祉委員会の開催の意義について理解を深め、それぞれの地域にあった活動のヒントを得てもらえるよう、分かりやすく寸劇で表現しました。

今後に向けて

地域福祉委員会の開催を進め、活動の活性化、充実を図るために、それぞれの町にあった見守りや助け合いの活動を進めることが大切だと確認しました。各町の取り組みや助け合い活動グループの事例を紹介し、情報を共有する機会をつくることが大切であり、これからは、ICTを活用した、新しい情報共有のつながりづくり、地域活動の情報発信を進め、地域における助け合いの担い手や理解者の拡充をめざします。



「どうぞ！地域福祉委員会活動を進めて行ったださ～い!!」
寸劇を通して地域福祉委員会の意義について理解を深めました

粟生町



九谷町

- ① 粟生町：地域の声からまちづくりを
小西 佳美氏(民生委員・児童委員)
- ② 九谷町：ラインを活用した地域の見守り活動へ
伊勢谷 誠氏(福祉推進員)

参加者の感想(一部抜粋)

- ・買い物支援、通院支援の要望が高齢者からでてきている。粟生町の取り組みを、興味を持って聞かせてもらった。
- ・同じ能美市の中で、町によって活動が違い、悩みごと違う。委員以外の住民も一緒にできることがあるのか考える機会になった。
- ・町会によって温度差があるので「自分」「近所」が出来る事を伸ばしていく事が必要。リーダーさんに「地域福祉委員会」を引っ張って頂きたいです。
- ・地域見守り活動のポイントリストをもらい参考にしたい。